平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　株式会社ストライダーズ　　上場取引所　大
コード番号　9816　URL　http://www.striders.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 早川　良一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　兼　CFO　(氏名) 前田　嘉也　TEL 03-5777-1891

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	510	△56.4	△121	―	△114	―	△52	―
23年3月期第2四半期	1,170	△9.4	52	114.7	18	△39.5	△97	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△53百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△66百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.71	―
23年3月期第2四半期	△1.31	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,721	1,192	69.2
23年3月期	3,690	1,571	33.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　1,191百万円　23年3月期　1,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,347	△37.1	21	73.9	21	△54.4	133	―	1.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 1社 (社名) Your Capital Co.,Limited

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	74,330,896 株	23年3月期	74,330,896 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	23,822 株	23年3月期	23,422 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	74,307,349 株	23年3月期2Q	74,309,169 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
４．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、３月に発生した東日本大震災による甚大な被害と原発事故の影響による電力供給の制限から、企業の生産活動の低下や個人消費の落ち込み等、景気は大変厳しい状況で推移いたしました。

また、米国の景気後退懸念や欧州の金融不安を背景とした円高・株安の進行により、今後の景気見通しにつきましても依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは本社移転や人件費・外注費の削減等のコストダウンを進め、また各事業において新規の顧客や案件の開拓に努めてまいりました。

また、平成23年５月には韓国においてフィナンシャルサービス事業を展開しておりましたユア・キャピタル社の全株式を譲渡し、連結子会社より除外いたしました。

当第２四半期連結累計期間の経営成績は、売上高510百万円（前年同四半期比56.4％減）、営業損失121百万円（前年同四半期は営業利益52百万円）、経常損失114百万円（前年同四半期は経常利益18百万円）となり、期中に連結子会社ユア・キャピタル社を売却したことによる特別利益の計上等により、四半期純損失52百万円（前年同四半期は四半期純損失97百万円）となりました。

次に、事業の種類別セグメントの業績における概要は以下のとおりです。

①　ＩＴ関連事業

ＩＴ関連事業につきましては、企業の収益は回復基調にあり内部統制の対応強化や、ＩＴシステムに関するセキュリティ対策のニーズは底堅いものの、震災の影響もあり、システムへの投資にあたってはその効果を慎重に検討するという姿勢が見られました。

当社はこのような状況下、「SMART FILTER」（ウェブサイトアクセスの制限や悪質なウェブサイトからのウィルス・スパイウェアの進入防止、ウェブメールの利用制限による情報漏洩防止等の機能を持つサーバー型フィルタリングソフト）を主力とした、法人向けネットワークセキュリティ商品の販売に注力し、営業部門の強化を進め、新規顧客の開拓や既存顧客への提案営業に努めてまいりました。また、主力商品のサポート品質のさらなる向上や、新規商品の開拓に注力してまいりました。

しかしながら、既存顧客の競合製品への乗り換え等の厳しい受注環境が続いており、売上高は41百万円（前年同四半期比14.1％減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益６百万円）となりました。

②　企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、長期化する景気の低迷や震災の影響等により、企業再生・再編の関連分野におけるニーズは引き続き高く、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社は、資産売却等のリストラによる収支改善や資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等、多様な案件に取り組んでまいりました。

しかしながら、複数の企業再生プロジェクトに取り組んでいるものの、案件の難易度や株式相場、金融情勢の変化による影響等により成功報酬の獲得に至らず、売上高は９百万円（前年同四半期比11.2％減）、営業損失は16百万円（前年同四半期は営業損失20百万円）となりました。

③　不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、不動産市況の悪化の影響をうけ、新規の管理受託件数の落ち込みや、不動産ファンドや個人オーナーの物件売却に伴う解約の発生により管理戸数が伸び悩む等、厳しい環境が続いております。

このような状況下において、株式会社トラストアドバイザーズは、ワンルームやコンパクトタイプの物件管理を強みとし、マーケット環境及び物件の特性を的確に捉えた営業活動を積極的に展開し、入居率向上や、賃料水準の維持を図ってまいりました。しかしながら、不動産ファンドの物件売却に伴う解約の発生による家賃収入の減少や、不動産仲介店舗につきましては第１四半期の閑散期における売上が伸び悩んだこと等により、売上高は459百万円（前年同四半期比33.0％減）、営業利益は５百万円（前年同四半期比90.7％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は1,721百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,968百万円減少いたしました。

流動資産は934百万円となり、1,831百万円減少いたしました。主な要因は、ユア・キャピタル社を売却したことにより営業貸付金が1,968百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は787百万円となり、136百万円減少いたしました。

有形固定資産は15百万円となり126千円減少し、無形固定資産は386百万円となり34百万円減少いたしました。

また、投資その他の資産は、投資有価証券の評価替等により、101百万円減少し、384百万円となりました。

当第２四半期連結会計期間末の負債合計は529百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,588百万円減少いたしました。

流動負債は308百万円となり、1,203百万円減少いたしました。主な要因は、ユア・キャピタル社を売却したことにより短期借入金が673百万円、１年内返済予定長期借入金が422百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は221百万円となり、385百万円減少いたしました。主な要因は、ユア・キャピタル社を売却したことにより社債が266百万円、長期借入金が75百万円減少したこと等によるものであります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は1,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ379百万円減少いたしました。主な要因は、少数株主持分が326百万円減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年５月13日の「平成23年３月期　決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第１四半期連結会計期間に当社が保有するYour Capital Co.,Limitedの株式を全て売却したことにより重要な子会社に該当しないことになりました。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加減算項目等を重要なものに限定しております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等かつ一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の事業予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	580,700	775,731
売掛金（純額）	43,450	39,460
たな卸資産	6,834	52,451
営業貸付金（純額）	1,885,398	－
その他	250,176	67,039
流動資産合計	2,766,560	934,683
固定資産		
有形固定資産	15,707	15,581
無形固定資産		
のれん	404,101	372,453
その他	17,410	14,468
無形固定資産合計	421,511	386,922
投資その他の資産		
投資有価証券	367,963	317,093
その他	118,624	67,558
投資その他の資産合計	486,588	384,652
固定資産合計	923,807	787,155
資産合計	3,690,368	1,721,838
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,380	29,208
短期借入金	763,730	90,000
1年内返済予定の長期借入金	422,084	－
未払法人税等	9,899	3,377
賞与引当金	13,311	9,692
預り金	92,419	86,933
繰延税金負債	56,617	－
その他	127,132	89,004
流動負債合計	1,511,575	308,216
固定負債		
社債	266,464	－
長期借入金	75,735	－
退職給付引当金	1,647	－
役員退職慰労引当金	12,514	－
長期預り敷金保証金	250,484	221,514
固定負債合計	606,846	221,514
負債合計	2,118,422	529,730

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,406	1,314,406
利益剰余金	△28,051	△80,934
自己株式	△2,916	△2,923
株主資本合計	1,283,438	1,230,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,742	△38,909
為替換算調整勘定	△45,173	－
その他の包括利益累計額合計	△38,430	△38,909
少数株主持分	326,938	469
純資産合計	1,571,946	1,192,108
負債純資産合計	3,690,368	1,721,838

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	1,170,310	510,670
売上原価	624,420	373,335
売上総利益	545,890	137,335
販売費及び一般管理費	492,969	258,724
営業利益又は営業損失（△）	52,921	△121,389
営業外収益		
受取利息	1,690	1,570
受取配当金	－	25,760
受取賃貸料	2,400	－
受取補償金	900	－
受取手数料	1,281	3,145
償却債権取立益	－	716
貸倒引当金戻入額	－	3,880
その他	250	3,819
営業外収益合計	6,522	38,892
営業外費用		
支払利息	－	603
貸倒引当金繰入額	1,968	－
債権売却損	－	10,501
為替差損	38,595	20,816
営業外費用合計	40,564	31,921
経常利益又は経常損失（△）	18,879	△114,418
特別利益		
関係会社株式売却益	－	11,731
その他	1,836	－
特別利益合計	1,836	11,731
特別損失		
過年度為替差損	117,258	－
固定資産除却損	89	741
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,008	－
特別損失合計	118,355	741
税金等調整前四半期純損失（△）	△97,639	△103,428
法人税、住民税及び事業税	21,868	889
法人税等調整額	8,389	△51,404
法人税等合計	30,258	△50,514
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△127,897	△52,913
少数株主損失（△）	△30,804	△30
四半期純損失（△）	△97,093	△52,882

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△127,897	△52,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△254	△45,652
為替換算調整勘定	61,374	45,173
その他の包括利益合計	61,120	△478
四半期包括利益	△66,776	△53,392
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,280	△53,361
少数株主に係る四半期包括利益	503	△30

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等
Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業	フィナンシャルサービス事業			
売上高							
外部顧客への売上高	48,196	10,585	686,438	425,089	1,170,310	－	1,170,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	48,196	10,585	686,438	425,089	1,170,310	－	1,170,310
セグメント利益又は損失（△）	6,707	△20,995	59,826	134,517	180,056	△127,135	52,921

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△127,135千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１、４	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額
	ＩＴ関連事業	企業再生再編事業	不動産賃貸管理事業				
売上高							
外部顧客への売上高	41,409	9,400	459,861	－	510,670	－	510,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	41,409	9,400	459,861	－	510,670	－	510,670
セグメント利益又は損失（△）	△17,915	△16,165	5,579	△910	△29,411	△91,978	△121,389

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、絵画等投資事業を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失の調整額△91,978千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。
３．事業区分の変更
事業区分の方法につきましては、従来、「ＩＴ関連事業」、「企業再生再編事業」、「不動産賃貸管理事業」、「フィナンシャルサービス事業」の４区分により分類をしておりましたが、「フィナンシャルサービス事業」につきましては、第１四半期連結会計期間において、連結子会社でありましたYour Capital Co.,Limitedを連結の範囲から除外したことに伴い事業区分を廃止いたしました。
４．第１四半期連結会計期間において、絵画等投資事業を行うグローバル芸術家有限責任事業組合を設立したことに伴い「その他」を新たに区分いたしました。
５．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。